

別紙 知的障害の程度別判定指標

領域	程度	最重度	重度	中度	軽度	
知的機能		おおむね I Q 20以下	おおむね I Q 20-35	おおむね I Q 35-50	おおむね I Q 50-70ないし75	
社会生活能力	身辺処理	総合	基本的な動作に困難な点が多く常時個別指導、介助を必要とする。	基本的な動作に困難な点があって、個別指導や介助を必要とする。	基本的な動作は自立しているが状況に応じた配慮はうまくできない。	身辺処理は自立しており、状況に応じた配慮もある程度できる。
		食事	一人で食事ができない、又はスプーン、握り箸などで食べるが、かなりこぼす。	箸を使って、大体こぼさずに食べる。	ある程度自分の判断で食事ができる。(簡単なおかずを作る。自分の適量がわかる。)	おおむね一人で食生活を送れる(外食、調理、買物等が一通りできる。)
		排泄	失禁などのためおむつを使用する。又は排泄を予告する。	排便の後始末がきちんとできない。指示に従って生理の後始末をする。	排便、生理の後始末は、ほぼできる。(時に、下着を汚していたりしてもよい。)	自立している。
		着脱衣	衣服の着脱ができない、又は指示に従ってセーター等の簡単な服を脱いだり、ジャージ等のズボンを引き上げる。	服の前後裏表や、靴の左右等大体間違えずに身につける。ファスナーを噛み合わせる。	着脱動作は自立しているが、衣服の選択・調整は十分にできない。	季節、天候(寒暖)や場面に合わせて衣服を調節する。
		入浴・洗面	殆ど洗えない、又は指示に従って手を洗ったり、顔を拭く。	入浴時、手の届くところを洗う。歯を磨く。	一人で入浴、洗面をする(一部洗い残し等あってもよい。)	一人で入浴し、髪や身体をきちんと洗う。
		整容	整容に関心がもてない。	爪切りがうまくできない。髪や衣服の乱れ・汚れにあまり気づかない。又は指示・習慣化により幾らかできる。	爪切り、髭剃りや衣服の乱れを直す、汚れたら着替えるといったことはおおむねできるが、時に声掛けを必要とする。	清潔、身だしなみに気を配る。
	活動	移動(身体移動、交通移動)	外出には常に付き添い者を必要とする。	戸外での危険(車、信号)に、おおむね注意を払うことができる。訓練により、一定の交通機関は利用できる場合がある。	慣れた範囲では、交通機関が利用できる。	交通機関をおおむね自由に利用する。初めての所へ一人で行く。
		意志交換(了解、表現) 集団参加(人間関係)	ことばがなく、意思表示ができない。身振りや単語で要求を伝えたり簡単な指示に従う。特定のひとしか関係を持たず、集団に参加できない。	簡単なことばで意志交換ができる。簡単な挨拶ができる。誘われれば集団に参加する。	日常的な会話ができる。文書による意思表示や理解は不十分である。電話で簡単な用事が足せる。集団のルールを有る程度理解し自発的に参加する。	状況に合わせた言葉遣いができ相手の立場に立ってわかるように話をする。簡単な文書による意思表示理解が可能である。一人で電話を利用する。限られた人間関係はおおむね円滑に保ち、集団参加、友人との交流ができる。
		生活文化(読み書き計算、時間及び健康管理)	文字、数字、金銭の理解がない。身体の不調を訴えられないので周囲が顔色や様子を見て体調を判断する。集団の流れ(日課)にのれない。	自分の名前など、決まったものを数える。ごく簡単なおつかいができる。火気や刃物が危ないということはわかる。腹痛などを訴える。声掛け等により日課にのれる。	平仮名中心の文の読み書きや、加減算などある程度できる。日用品の買物ができるが、釣銭計算はよくできない。危険物や健康について理解するが対応はやや不十分である。日常的な時間の約束を守れる。	簡単な漢字交じり文の読み書きや、四則計算がある程度できる。釣銭計算、金銭管理、衣類の購入等がある程度できる。危険物を注意して扱う。健康管理に気を合わせて行動できる。
		作業(家事、職業)	作業への従事は難しい。	ごく簡単な作業や手伝いができる。	指導下で、一定時間、単純作業に従事する。一定の家事を行う。上限は訓練により就労する。	一定の単純作業や家事は確実に行う。上限では、自己の労働により経済的自立ができる。
介護度	1失禁、異食、興奮、多寡動その他の問題行動を有し、常時注意と指導を必要とする者。 2盲、ろうあ、肢体不自由、虚弱又はけいれん発作等の合併症のために、常時注意と治療看護が必要な者。					